

ネットに出ていない！ 少人数で 会社の生産性を 爆上げする方法

【公開】少人数で利益を爆上げしたいなら、この3つを「仕分け」ないと無理！

「社員一人あたりの生産性を上げたい」と願う経営者は多いでしょう。少数精鋭で運営を回すSSは一人の頑張り（逆を言えば一人の頑張らなさ）が全体の収益に大きく影響します。しかし、実態はどうでしょうか。OECD加盟38カ国の中で、日本の労働生産性はなんと30位という、目を疑うような低位置に沈んでいます。この生産性の低さは、ダイレクトに「給料」に直結します。中小企業の平均的な粗利では、社員に十分な給料を払う原資が確保できず、社長も社員も苦しむという悪循環に陥っています。この状況を打破し、少人数で圧倒的に稼ぐ組織に変わるための急所はどこにあるのか？今日は、生産性を劇的に変える3つのステップをお伝えします。

ステップ1 「100万円かきながら1000万円を捨てる」

生産性の低い企業に共通する致命的な特徴は、業務が極めて「属人的」であることです。「〇〇さんが休みだから分らない」「〇〇さんしかできない仕事だ」とい

う状態です。皆さんの会社でもありませんか？この状態は経営において非効率です。一人で仕事を抱え込んでいては、組織としてのパワーは発揮できません。私の30年間のビジネスパーソン歴からみて、この人しかできないと言ええる仕事は全体の20%もありません。残りの80%は一定の訓練を積んだ人であればできることばかりです。「〇〇さんしかできない」という思い込みはまずは一旦捨ててみてください。

ステップ2 業務を「ABC」でランク分けする

次に属人的業務を炙り出すために、業務をランク分けします。やり方は簡単。社員を集めてポストイットにすべての1つ1つ書き出してもらいます。そして書き出した仕事（ポストイット）を以下の3つに分類します。

- ・Aランク（職人・感覚型）…その人にしかできない高度な仕事（いわゆる職人の技）
- ・Bランク（選択型）…判断基準（この場合はこれをする等）を

示せば、職人以外も遂行できる仕事

・Cランク（単純型）…誰がやっても同じ結果になるルーチン作業

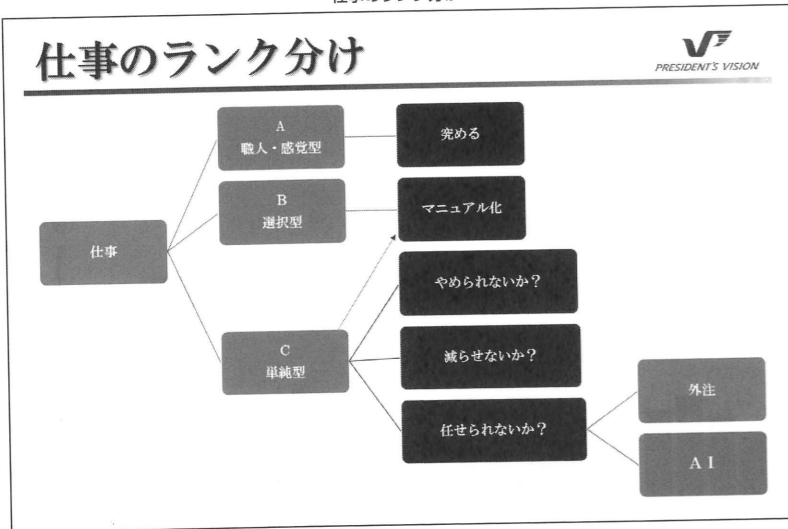
私はこのランク分けを多くの企業で実施してきましたが、業種業界を問わずAランク業務は全体の20%以下です。

この仕分けをせずにシステムを導入しても、無駄な作業をデジタル化するだけで終わってしまいます。まず何が「本当に価値を生むAランクの仕事なのか」を明確にすることが重要です。

ステップ3 業務の見直しとマニュアルの作成

ステップ2で、Cランクと位置付けられたものは、①やめられないか（不要なものやめる）、②減らせないか（業務量を確認し、長いものは減らす）、③任せられないか（外注、AIの活用で外部に仕事を outsour ）の順で見直しましょう。この見直しで残った仕事とBランクの仕事についてはマニュアル化します。このマニュアル化も画像

仕事のランク分け



やAIを使いながら、負荷をかけずに作ることができます。

SS店長の仕事をABCで整理すると下記のようになります。

C：集計や日報作成など誰でもできるような仕事。今後は「Aに任せる仕事」になっていくことが予想されます

B：実績管理、定番商品のフロント業務、開閉店、POS管理など「仕組み化する仕事」。マニュアル化することで店長以外でも実施できます

事ができるようになります。そうすればあなたの価値（報酬）も結果的には上がっていきますよ」とお伝えしています。

こうした仕訳により、BCで使っていた時間をAの仕事に使えるようになれば、その分だけ生産性の高い人材を育成した、顧客との関係性も質の高いものにしていくことができ、結果SS全体の生産性（一人当たりの粗利）を高めることができます。

このランク分けを実施すると、「私の仕事はなくなるのですか？」「真顔で不安がるスタッフが一定数います。その方には、「違いますよ。もしこのランク分けで時間が空いたのであれば、もっと付加価値の高い仕

（株）プレジデンツビジョン 石原尚幸 代表取締役

いしはら・なおゆき。1973年生まれ、愛知県名古屋出身。96年、上智大学経済学部経営学科卒業後、出光興産に入社。京都支店、関東第二支店を経て05年本社・販売部企画課に配属。08年に独立起業し、2012年法人化した。